

貸借取引参加者  
代表者 殿

日本証券金融株式会社  
代表取締役社長 小林英三

株式移転に伴う貸借融資銘柄の選定取消しおよび追加等について

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今般当社は、標記の件について下記のとおり取扱いますので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

1. 貸借融資銘柄の選定取消し

(東京証券取引所市場分)

株メ ガ ネ ス ー パ ー 株式 (3318) 選定取消日 平成 29 年 10 月 27 日 (金)

2. 貸借融資銘柄の追加

(東京証券取引所市場分)

株ビジョナリーホールディングス 株式 (9263) 実施日 平成 29 年 11 月 1 日 (水) (約定日)

3. 上記 1. により選定取消しを行う銘柄に係る貸借取引の取扱い

次のいずれかを貴社に選択していただきます。

- ① 選定取消しを行う銘柄(表記載の甲。以下「甲」という。)について、東京証券取引所における売買最終日となる 10 月 26 日(木)までに返済の申込みを行う。
- ② 甲について、選定取消日以降も貸借取引残高を継続し、株式移転期日となる 11 月 1 日(水)において移転比率に応じて読み替えた親会社株式(表記載の乙。以下「乙」という。)の貸借取引残高とする(「残高継続の取扱い方法」は以下のとおり)。

[残高継続の取扱い方法]

- イ. 申込最終日となる 10 月 26 日(木)における甲の継続残高については、株式移転期日の前営業日(約定日)まで返済申込みの受付は行わず、当該期間の貸借値段については甲の申込最終日の貸借値段を適用します。
- ロ. 株式移転期日(約定日)においては、上記イ. による継続残高について、移転比率に応じて株数の読み替えを行い、同日の乙の貸借値段を適用します。当該読み替え後の株数に乙の貸借値段を乗じて算出した貸付金の金額と前日の継続残高に係る貸付金の金額との差額については、株式移転期日から起算して 4 営業日目の日となる 11 月 7 日(火)(決済日)に更新差金として授受します。
- ハ. その他の取扱いは、他の貸借融資銘柄と同様とします。

(表)

完全子会社となる 会社株式(甲)	申込最終日	選定取消日	親会社となる 会社株式(乙)	選定日	株式移転期日 移転比率	甲の貸借取引 残高を継続する 場合の最低 単位株数
	売買最終日	上場廃止日		新規上場日		
株メガネスーパー株式 (3318) 東京証券取引所市場分 貸借融資銘柄 (売買単位:100株)	平成29年 10月26日	平成29年 10月27日	株ビジョナリーホールディングス株式 (9263) 東京証券取引所市場分 貸借融資銘柄 (売買単位:100株)	平成29年 11月1日	平成29年 11月1日 甲1株につき 乙1株	—

4. 貸借担保金代用有価証券適格銘柄の選定取消し

株メガネスーパー株式(3318) 選定取消日 平成29年10月27日(金)

担保として差入中の上記株式につきましては選定取消日の前営業日までに引き出してください。

5. 貸借担保金代用有価証券適格銘柄の追加

株ビジョナリーホールディングス株式(9263) 実施日 平成29年11月7日(火) (受入日)

以上